

# 公立高等学校配置計画

(平成29年度～31年度)

平成 2 8 年 9 月

北海道教育委員会

# 目 次

## I 公立高等学校配置計画（平成29年度～31年度）策定の考え方

1 趣旨	1
2 中卒者数の見込み	1
3 基本的考え方	1
4 配置計画（平成29年度～31年度）の概要	2
5 地域キャンパス校の再編整備	3
6 配置計画の変更	3

## II 公立高等学校配置計画（平成29年度～31年度）の内容

1 中学校卒業生数	4
2 欠員の状況	4
3 定員及び中学校卒業生数に対する割合	4
4 配置計画（平成29年度～31年度）の学校別内訳	5
5 中学校卒業生数の推計及び推移	9

## III 公立高等学校配置計画（平成29年度～31年度）学区別個表

空知南学区	11
空知北学区	12
石狩学区	13
後志学区	15
胆振西学区	16
胆振東学区	17
日高学区	18
渡島学区	19
檜山学区	20
上川南学区	21
上川北学区	22
留萌学区	23
宗谷学区	24
オホーツク中学区	25
オホーツク東学区	26
オホーツク西学区	27
十勝学区	28
釧路学区	29
根室学区	30

# I 公立高等学校配置計画（平成29年度～31年度）策定の考え方

## 1 趣旨

「公立高等学校配置計画」（以下「配置計画」という。）は、高等学校進学希望者数に見合った定員を確保することを基本として、中学校卒業生数（以下「中卒者数」という。）の状況を踏まえ、生徒の多様な学習ニーズ、進路動向などに対応した学校・学科の配置や規模の適正化を図るために、平成29年度から平成31年度までの高校配置の計画を策定するとともに、平成32年度から平成35年度までの見通しを示したものである。

## 2 中卒者数の見込み

本道の中卒者数は、平成29年に4万5,618人、平成30年に4万4,813人、平成31年に4万4,111人となる見込みであり、その後も総じて減少傾向にある。

## 3 基本的考え方

配置計画の策定に当たっては、「新たな高校教育に関する指針」（以下「指針」という。）に基づき、中卒者数の増減に適切に対応し、教育水準の維持向上などを図る観点から、地域の実情、私立高校の配置状況等を考慮しながら定員の調整や学校の再編整備等を行うとともに、都市部において複数の高校が設置されている場合、望ましい規模の学校についても、地域の実情などに応じて再編整備を行う。

また、生徒の多様な学習ニーズに対応するため、次のとおり新しい高校づくり等を推進する。

### (1) 地域キャンパス校の導入

他の高校への通学が困難な地域を抱え、かつ地元からの進学率が高い（普通科はおよそ1/2、専門学科はおよそ1/4）第1学年1学級の高校を地域キャンパス校とし、センター校からの出張授業や通信機器を活用した教育活動への支援等により、教育環境の充実を図る。

### (2) 総合学科の設置

生徒の多様な能力・適性、興味・関心、進路希望等に応じて、普通教育と専門教育に関する多様な科目を選択して学ぶことができ、幅広い進路希望に対応が可能となる総合学科の設置を再編にあわせて進める。

### (3) 単位制の導入

学年による教育課程の区分を設けず、高校の生徒が必ず学ばなければならない科目のほか、学校が開設した多数の選択科目の中から、興味・関心や進路希望等に応じて自分で科目を選択し、主体的な学習が可能となる単位制の導入を進める。

### (4) フィールド制の導入

普通科の特色づくりとして、まとまりのある分野の科目群をフィールドとして設定し、興味・関心や進路希望等に応じて自分でフィールドを選択して学習することが可能となるフィールド制の導入を進める。

### (5) 職業学科の学科転換

産業構造の変化や学科の配置状況、生徒の進路動向などを考慮し、職業学科の学科転換を検討する。

#### (6) 産業キャンパスの活用

職業学科を含めた再編にあわせ、産業教育施設や実習地などを有効に活用するため、産業キャンパス化について検討する。

### 4 配置計画（平成29年度～31年度）の概要

昨年決定した平成29年度及び平成30年度の計画を一部変更するとともに、新たに平成31年度の配置計画を策定する。

#### (1) 学級定員

「公立高等学校の適正配置及び教職員定数の標準等に関する法律」に基づき、1学級の定員は40人とする。

#### (2) 平成29年度～30年度(平成27年度決定)高校配置計画の変更

##### 全日制課程

##### ア 学級増

平成28年度の入学者選抜の結果、第2次募集後の入学者に1学級相当以上の欠員が生じ、学級減を行った月形高校ほか8校について、中卒者数の状況等を総合的に勘案し、平成29年度にそれぞれ1学級の増を行う。

また、清里高校及び別海高校について、町内の中卒者数の状況等を総合的に勘案し、平成29年度にそれぞれ1学級の増を行う。

##### イ 学級減

滝川西高校（市立）については、設置者である滝川市の決定により、平成30年度に1学級減とする大学科を商業に関する学科とする。

##### ウ 単位制の導入

小樽商業高校及び小樽工業高校の再編により設置する新設校については、生徒の多様な興味・関心や進路希望等に応じた主体的な学習が可能となるよう、平成30年度に商業に関する学科及び工業に関する学科に単位制を導入する。

##### エ 職業学科の学科転換

小樽商業高校及び小樽工業高校の再編により設置する新設校については、学区における学校・学科の配置状況、生徒の進路動向や地域の要望などを総合的に勘案し、平成30年度に商業科及び情報処理科を流通マネジメント科及び情報会計マネジメント科に、電子機械科、電気科及び建設科を機械電気システム科及び建設システム科に学科転換する。

また、滝川西高校については、学級減に併せて会計ビジネス科及び情報ビジネス科を情報マネジメント科に学科転換する。

##### オ 中高一貫教育の導入

奥尻高校（町立）については、設置者である奥尻町の決定により、平成29年度に連携型の中高一貫教育を導入する。

##### カ その他

上磯高校については、平成28年度の入学者選抜の結果、第2次募集後の入学者に1学級相当以上の欠員が生じ、1学級減を行ったため、平成29年度の1学級の減を行わない。

### (3) 平成31年度高校配置計画

#### 全日制課程

##### ア 学級減

各学区ごとに、中卒者数を基礎として、生徒の進路動向や学校・学科の配置状況、各学校の在籍状況などを総合的に勘案し、岩見沢西高校ほか5校で6学級の減を行う。

##### イ 再編整備

函館市内において、今後の中卒者数の状況や学校・学科の配置状況などを勘案し、一定の学校規模を維持し、幅広い教育課程の編成・実施を図る観点から、函館西高校及び函館稜北高校において再編整備を行う。

なお、再編後の新設校の学級数については6学級とする。

### 5 地域キャンパス校の再編整備

地域キャンパス校の再編基準の緩和に向けた新たな人数要件については、指針に基づく施策の成果と課題の検証と併せて検討していることから、この検討期間中における地域キャンパス校の新たな再編整備については行わない。

### 6 配置計画の変更

配置計画を策定した後、急激な中卒者数の増減や生徒の進路動向に大きな変動が生じた場合など、学区における中卒者の進路動向等を見極めて、毎年度再検討するほか、次の(1)～(3)に掲げる場合にあっては配置計画を変更することとする。

(1) 入学者選抜における第2次募集の合格発表後、配置計画で示した募集人員に対し1学級相当以上の欠員が生じた場合

(2) 5月1日現在の第1学年の在籍者が指針に示した人数要件に該当し、その後も生徒数の増が見込まれない場合

(3) 市町村立高校について、当該市町村において募集人員等の変更を行った場合

## II 公立高等学校配置計画（平成29年度～31年度）の内容

### 1 中学校卒業生数

平成28年（実績）	45,458人	（対前年比 500人減少）
平成29年（推計）	45,618人	（対前年比 160人増加）
平成30年（推計）	44,813人	（対前年比 805人減少）
平成31年（推計）	44,111人	（対前年比 702人減少）

### 2 欠員の状況

（平成28年5月1日現在）

公立高等学校全日制	公立高等学校定時制	私立高等学校	合計
2,726人（-97人）	1,267人（25人）	1,769人（-32人）	5,762人（-104人）

※（ ）は対前年増減

### 3 定員及び中学校卒業生数に対する割合

区 分		公 立			高等専門学校	私立	計	
		全日制	定時制	中等教育学校				
平成28年度	定員（人）	34,220	2,360	240	720	11,800	49,340	
	割合（％）	75.3	5.2	0.5	1.6	26.0	108.5	
公立高等学校配置計画	平成29年度	学級増（人）	640	0	0	0	0	640
		学級減（人）	-40	-40	0	0	-120	-200
		新設（人）	240	0	0	0	0	240
		募集停止（人）	-400	0	0	0	0	-400
		差引増減（人）	440	-40	0	0	-120	280
		定員（人）	34,660	2,320	240	720	11,680	49,620
		割合（％）	76.0	5.1	0.5	1.6	25.6	108.8
公立高等学校配置計画	平成30年度	学級増（人）	0	0	0	0	0	0
		学級減（人）	-400	0	0	0	0	-400
		新設（人）	400	0	0	0	0	400
		募集停止（人）	-440	0	0	0	0	-440
		差引増減（人）	-440	0	0	0	0	-440
		定員（人）	34,220	2,320	240	720	11,680	49,180
		割合（％）	76.4	5.2	0.5	1.6	26.1	109.7
公立高等学校配置計画	平成31年度	学級増（人）	0	0	0	0	0	0
		学級減（人）	-240	0	0	0	0	-240
		新設（人）	240	0	0	0	0	240
		募集停止（人）	-240	0	0	0	0	-240
		差引増減（人）	-240	0	0	0	0	-240
		定員（人）	33,980	2,320	240	720	11,680	48,940
		割合（％）	77.0	5.3	0.5	1.6	26.5	110.9

\* 1 高等専門学校及び私立の定員については、平成29年度以降は見込みを記載。

\* 2 霧多布高校（浜中町立）は、1学級の定員を30人としている。

#### 4 配置計画（平成29年度～31年度）の学校別内訳

##### ◎ 平成28年度入学者選抜における第2次募集後の学級減／全日制課程

実施年度	学 区	設置	学 校 名	課 程	小 学 科	募集学級数		学級増減数	1学年総学級数
						実施前	実施後		
H28	空知南	道	月 形	全	普 通	2	1	-1	2学級→1学級
	空知北	道	砂 川	全	普 通	4	3	-1	4学級→3学級
	後志	道	余市紅志	全	総 合	2	1	-1	2学級→1学級
	渡 島	道	上 磯	全	普 通	2	1	-1	2学級→1学級
		道	松 前	全	普 通	2	1	-1	2学級→1学級
		道	森	全	総 合	3	2	-1	3学級→2学級
	上川南	道	上 川	全	普 通	2	1	-1	2学級→1学級
	才ホーツク西	道	湧 別	全	普 通	2	1	-1	2学級→1学級
	十 勝	道	本 別	全	普 通	2	1	-1	2学級→1学級
	釧 路	道	白 糠	全	普 通	2	1	-1	2学級→1学級
		道	弟 子 屈	全	普 通	2	1	-1	2学級→1学級
根 室	道	羅 臼	全	普 通	2	1	-1	2学級→1学級	
計			12校					-12 (-480)	

##### ◎ 平成29～31年度高校配置計画／全日制課程

###### (1) 学級増減

① 学級増(学校名の前の※印は、平成27年度に決定した配置計画からの変更。)

実施年度	学 区	設置	学 校 名	課 程	小 学 科	募集学級数		学級増減数	1学年総学級数
						実施前	実施後		
H29	空知南	道	※月 形	全	普 通	1	2	+1	1学級→2学級
	石 狩	道	札幌西陵	全	普 通	7	8	+1	7学級→8学級
		道	札幌白石	全	普 通	7	8	+1	7学級→8学級
		道	札幌厚別	全	総 合	7	8	+1	7学級→8学級
		道	北広島西	全	普 通	7	8	+1	7学級→8学級
	後志	道	※余市紅志	全	総 合	1	2	+1	1学級→2学級
	渡 島	道	※ 森	全	総 合	2	3	+1	2学級→3学級
	上川南	道	旭川北	全	普 通	6	7	+1	6学級→7学級
		道	※上 川	全	普 通	1	2	+1	1学級→2学級
	才ホーツク東	道	※清 里	全	普 通	1	2	+1	1学級→2学級
	才ホーツク西	道	※湧 別	全	普 通	1	2	+1	1学級→2学級
	十 勝	道	※本 別	全	普 通	1	2	+1	1学級→2学級
	釧 路	道	※白 糠	全	普 通	1	2	+1	1学級→2学級
		道	※弟 子 屈	全	普 通	1	2	+1	1学級→2学級
	根 室	道	※別 海	全	普 通	2	3	+1	3学級→4学級
道		※羅 臼	全	普 通	1	2	+1	1学級→2学級	
(小計)			16校					+16	
H30	-								
H31	-								
計			16校					+16 (+640)	

② 学級減(学科名の前の※印は、平成27年度に決定した配置計画からの変更。)

実施年度	学 区	設置	学 校 名	課 程	小 学 科	募集学級数		学級増減数	1学年総学級数
						実施前	実施後		
H29	渡 島	道	函 館 西	全	普 通	4	3	-1	4学級→3学級
(小計)			1校					-1	

実施年度	学 区	設置	学 校 名	課程	小 学 科	募集学級数		学級増減数	1 学年総学級数
						実施前	実施後		
H30	空 知 北	市	滝川西	全	※商業(大専科)	4	3	-1	7学級→6学級
			札幌南陵	全	普 通	6	5	-1	6学級→5学級
	石 狩	道	札幌厚別	全	総 合	8	7	-1	8学級→7学級
			石狩南	全	普 通	8	7	-1	8学級→7学級
	渡 島	市	市立函館	全	普 通	8	6	-2	8学級→6学級
	上 川 南	道	旭川北	全	普 通	7	6	-1	7学級→6学級
			旭川工業	全	自 動 車	1	0	-1	7学級→6学級
	十 勝	道	帯広三条	全	普 通	7	6	-1	7学級→6学級
釧 路	道	釧路江南	全	普 通	6	5	-1	6学級→5学級	
(小計)		9校						-10	
H31	空 知 南	道	岩見沢西	全	普 通	4	3	-1	4学級→3学級
	石 狩	道	札幌東豊	全	普 通	8	7	-1	8学級→7学級
	胆 振 西	道	室蘭工業	全	(検討中)	1	0	-1	5学級→4学級
	胆 振 東	道	苫小牧南	全	普 通	5	4	-1	5学級→4学級
	オホーツク中	道	北見柏陽	全	普 通	6	5	-1	6学級→5学級
			北見商業	全	(検討中)	(検討中)		-1	4学級→3学級
(小計)		6校						-6	
計		16校						-17 (-680)	

※H30の滝川西高校の学級減については、「(4) 職業学科の学科転換」を参照。

## (2) 再編整備

① 再編統合等(学科名の前の※印は、平成27年度に決定した配置計画からの変更。)

実施年度	学 区	設置	学 校 名	課程	小 学 科	募集学級数		学級増減数	摘 要
						実施前	実施後		
H29	根 室	道	根 室	全	普 通	3	0	-3	5学級→0学級
					商 業	1	0	-1	
					事務情報	1	0	-1	
		道	新 設 校	全	普 通	0	4	+4	6学級 根室校舎を使用
					商 業	0	1	+1	
					事務情報	0	1	+1	
(小計)		再編等に伴う募集停止2校、新設1校						-1 (7学級の減、新設校で6学級の増)	
H30	後 志	道	小樽商業	全	商 業	1	0	-1	2学級→0学級
					情報処理	1	0	-1	
		道	小樽工業	全	電子機械	1	0	-1	3学級→0学級
					電 気	1	0	-1	
		道	新 設 校	全	※流通7科目	0	1	+1	4学級 小樽工業校舎を使用
					※情報会計7科目	0	1	+1	
	※機械電気システム				0	1	+1		
	※建設システム				0	1	+1		
	留 萌	道	留 萌	全	普 通	4	0	-4	4学級→0学級
					道	留萌千望	全	電気・建築	1
		情報ビズ初	1	0				-1	
		道	新 設 校	全	普 通	0	4	+4	6学級 留萌千望校舎を使用
電気・建築					0	1	+1		
情報ビズ初		0	1	+1					
(小計)		再編等に伴う募集停止4校、新設2校						-1 (11学級の減、新設校で10学級の増)	



実施年度	学 区	設置	学 校 名	課 程	小 学 科	募集学級数		学級増減数	摘 要
						実施前	実施後		
H31	渡 島	道	函 館 西	全	普 通	3	0	-3	3学級→0学級
		道	函 館 稜 北	全	普 通	3	0	-3	3学級→0学級
		道	新 設 校	全	(検討中)	0	6	+6	6学級 函館西校舎を使用
	(小計)		再編等に伴う募集停止2校、新設1校						±0(6学級の減、新設校で6学級の増)
計		再編等に伴う募集停止8校、新設4校						-2 (-80)	

② 募集停止

実施年度	学 区	設置	学 校 名	課 程	小 学 科	募集学級数		学級増減数	1学年総学級数
						実施前	実施後		
H29	後 志	道	共 和	全	普 通	1	0	-1	1学級→0学級
	オホーツク西	道	滝 上	全	普 通	1	0	-1	1学級→0学級
	十 勝	道	新 得	全	普 通	1	0	-1	1学級→0学級
	(小計)		3校						-3
H30	-								
H31	-								
計		3校						-3 (-120)	

(3) 単位制の導入(学校名の前※印は、平成27年度に決定した配置計画からの変更。)

実施年度	学 区	設置	学 校 名	課 程	小 学 科	募集学級数	適 要		
H29	後 志	道	岩 内	全	普 通	3	根室・根室西の再編		
	根 室	道	新 設 校	全	普 通	4			
					商 業	1			
					事務情報	1			
(小計)		2校							
H30	後 志	道	※新 設 校	全	流通マネジメント	1	小樽商業・小樽工業の再編		
					情報会計システム	1			
					機械電気システム	1			
					建設システム	1			
	留 萌	道	新 設 校	全	普 通	4	留萌・留萌千望の再編		
(小計)		2校							
H31	-								
計		4校							

(4) 職業学科の学科転換(再編によるものを除く)(学校名の前※印は、平成27年度に決定した配置計画からの変更。)

実施年度	学 区	設置	学 校 名	課 程	小 学 科	募集学級数		学級増減数	適 要
						実施前	実施後		
H29	-								
H30	空 知 北 市		※滝 川 西	全	会計システム	2	0	-2	(再掲) 1学年総学級数 7学級→6学級
					情報システム	2	0	-2	
					流通マネジメント	0	3	+3	
(小計)		1校						-1	
H31	-								
計		1校						-1 (-40)	

(5) 中高一貫教育の導入(学校名の前の※印は、平成27年度に決定した配置計画からの変更。)

実施年度	学 区	設置	学 校 名	課 程	小 学 科	募集学級数	適 要
H 2 9	檜 山 町		※奥 尻	全	普 通	1	連携型 (連携中学校：奥尻中学校)
H 3 0						—	
H 3 1						—	
計			1校				

※連携中学校…連携型の中高一貫教育を行う中学校。

◎ 平成29～31年度高校配置計画／定時制課程

実施年度	学 区	設置	学 校 名	課 程	小 学 科	募集学級数		学級増減数	1学年総学級数
						実施前	実施後		
H 2 9	渡 島 道		函 館 工 業	定	機 械	1	0	— 1	2学級→1学級
					電 気	1	0	— 1	
					電子機械	0	1	+ 1	
	(小計)		1校					— 1	
H 3 0								—	
H 3 1								—	
計			1校					— 1 (— 4 0)	

## 5 中学校卒業生数の推計及び推移

中学校卒業生数推計表（28年推計）

	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年	平成33年	平成34年	平成35年
空知南	1,304	1,269 ▲ 35	1,276 +7	1,186 ▲ 90	1,120 ▲ 66	1,105 ▲ 15	1,090 ▲ 15	1,095 +5
空知北	1,147	1,124 ▲ 23	1,031 ▲ 93	993 ▲ 38	951 ▲ 42	856 ▲ 95	901 +45	851 ▲ 50
石 狩	19,818	20,093 +275	19,883 ▲ 210	19,743 ▲ 140	18,925 ▲ 818	18,504 ▲ 421	19,034 +530	18,975 ▲ 59
後 志	1,698	1,732 +34	1,684 ▲ 48	1,596 ▲ 88	1,460 ▲ 136	1,416 ▲ 44	1,440 +24	1,391 ▲ 49
胆 振 西	1,549	1,596 +47	1,580 ▲ 16	1,535 ▲ 45	1,467 ▲ 68	1,364 ▲ 103	1,389 +25	1,346 ▲ 43
胆 振 東	1,815	1,847 +32	1,894 +47	1,745 ▲ 149	1,792 +47	1,713 ▲ 79	1,750 +37	1,672 ▲ 78
日 高	637	605 ▲ 32	584 ▲ 21	548 ▲ 36	521 ▲ 27	504 ▲ 17	558 +54	516 ▲ 42
渡 島	3,459	3,298 ▲ 161	3,254 ▲ 44	3,246 ▲ 8	3,125 ▲ 121	2,942 ▲ 183	2,959 +17	2,773 ▲ 186
檜 山	325	313 ▲ 12	294 ▲ 19	291 ▲ 3	247 ▲ 44	236 ▲ 11	218 ▲ 18	216 ▲ 2
上 川 南	3,805	3,900 +95	3,655 ▲ 245	3,766 +111	3,579 ▲ 187	3,435 ▲ 144	3,512 +77	3,386 ▲ 126
上 川 北	500	552 +52	541 ▲ 11	482 ▲ 59	468 ▲ 14	455 ▲ 13	466 +11	446 ▲ 20
留 萌	356	348 ▲ 8	333 ▲ 15	361 +28	344 ▲ 17	308 ▲ 36	292 ▲ 16	303 +11
宗 谷	555	560 +5	600 +40	519 ▲ 81	525 +6	502 ▲ 23	508 +6	465 ▲ 43
オホーツク中	1,375	1,337 ▲ 38	1,388 +51	1,257 ▲ 131	1,253 ▲ 4	1,155 ▲ 98	1,189 +34	1,146 ▲ 43
オホーツク東	597	552 ▲ 45	541 ▲ 11	529 ▲ 12	498 ▲ 31	488 ▲ 10	481 ▲ 7	448 ▲ 33
オホーツク西	551	526 ▲ 25	492 ▲ 34	522 +30	472 ▲ 50	456 ▲ 16	425 ▲ 31	422 ▲ 3
十 勝	3,190	3,103 ▲ 87	3,074 ▲ 29	3,082 +8	2,995 ▲ 87	2,872 ▲ 123	2,873 +1	2,914 +41
釧 路	2,024	2,056 +32	1,995 ▲ 61	1,980 ▲ 15	1,868 ▲ 112	1,792 ▲ 76	1,825 +33	1,787 ▲ 38
根 室	753	807 +54	714 ▲ 93	730 +16	736 +6	647 ▲ 89	666 +19	646 ▲ 20
合 計	45,458	45,618 +160	44,813 ▲ 805	44,111 ▲ 702	42,346 ▲ 1,765	40,750 ▲ 1,596	41,576 +826	40,798 ▲ 778

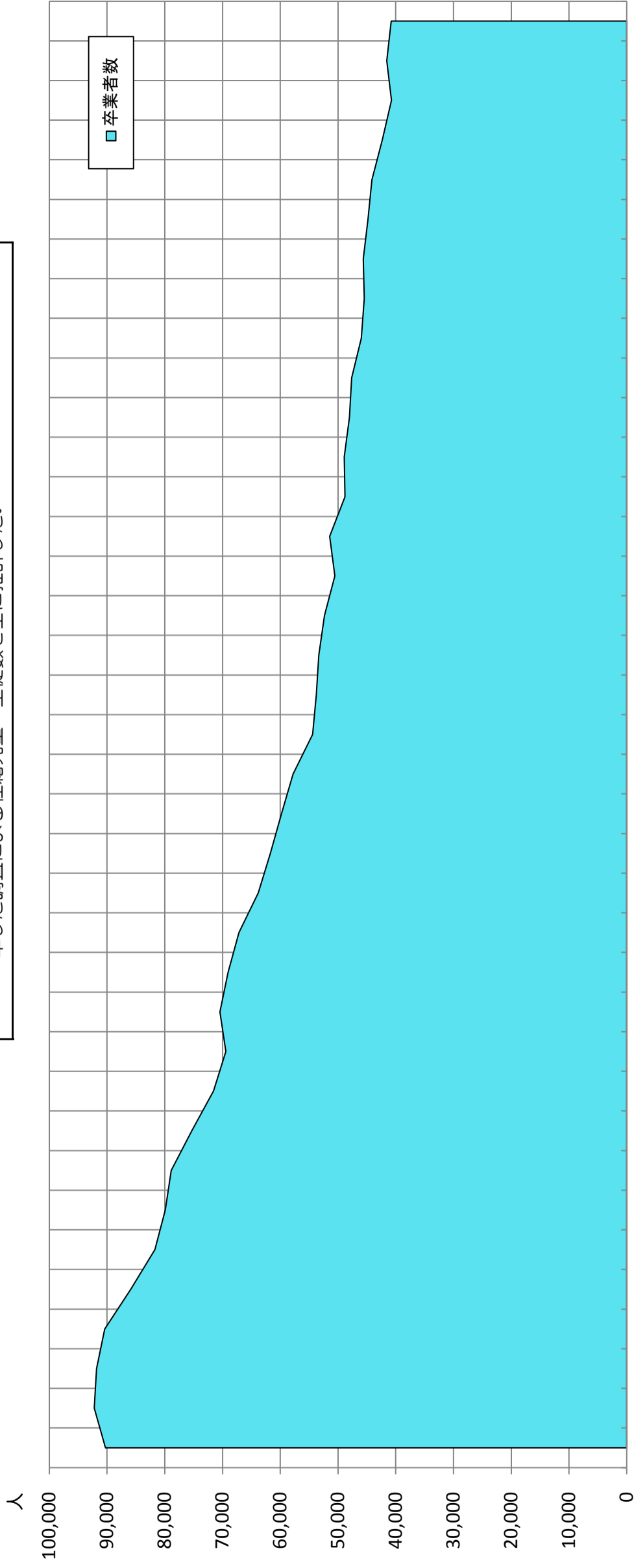
※中学校卒業生数は、平成28年5月1日現在の小学校1年生から中学校3年生までの在籍児童・生徒数を基に、過去の社会的増減等を勘案した推計値。

※平成28年は実数、平成29年以降の上段は中卒者数、下段は前年比増減。

### 北海道における中学校卒業（見込）者数の推移

（昭和62年～平成35年）

- (注) 1 昭和62年3月～平成28年3月は実卒業者数である。  
 2 平成29年3月～平成35年3月は学校基本調査（平成28年5月1日現在）に準じた調査による在籍児童・生徒数を基に推計した。



年	S62	S63	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
卒業者数	90,257	92,222	91,810	90,400	85,909	81,733	79,911	78,884	75,348	71,560	69,441	70,462	69,047	67,180	63,800	61,714	59,783	57,804	54,415	53,778	53,330	52,339	50,537	51,437	48,778	48,907	48,015	47,620	45,958	45,458	45,618	44,813	44,111	42,346	40,750	41,516	40,798
増減	1,298	1,965	-412	-1,410	-4,491	-4,176	-1,822	-1,027	-3,536	-3,788	-2,109	1,021	-1,415	-1,867	-3,380	-2,086	-1,931	-1,979	-3,389	-637	-448	-991	-1,802	900	-2,659	129	-892	-395	-1,662	-500	160	-805	-702	-1,765	-1,596	826	-718

Ⅲ 公立高等学校配置計画（平成29年度～31年度）学区別個表

空知南学区高校配置計画										
区 分	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	H 3 2	H 3 3	H 3 4	H 3 5	平成29～35年までの増減	平成32～35年までの増減
学区内中卒者数	1,304	1,269	1,276	1,186	1,120	1,105	1,090	1,095	▲ 209	▲ 91
対前年増減		▲ 35	+ 7	▲ 90	▲ 66	▲ 15	▲ 15	+ 5		
岩見沢市中卒者数	( 694 )	( 697 )	( 706 )	( 669 )	( 631 )	( 613 )	( 623 )	( 611 )	▲ 83	▲ 58
対前年増減		+ 3	+ 9	▲ 37	▲ 38	▲ 18	+ 10	▲ 12		
美唄市中卒者数	( 182 )	( 173 )	( 170 )	( 159 )	( 121 )	( 135 )	( 129 )	( 128 )	▲ 54	▲ 31
対前年増減		▲ 9	▲ 3	▲ 11	▲ 38	+ 14	▲ 6	▲ 1		
三笠市中卒者数	( 50 )	( 56 )	( 44 )	( 55 )	( 49 )	( 58 )	( 57 )	( 39 )	▲ 11	▲ 16
対前年増減		+ 6	▲ 12	+ 11	▲ 6	+ 9	▲ 1	▲ 18		
夕張市中卒者数	( 39 )	( 37 )	( 42 )	( 31 )	( 35 )	( 31 )	( 35 )	( 35 )	▲ 4	4
対前年増減		▲ 2	+ 5	▲ 11	+ 4	▲ 4	+ 4	± 0		
学校名	平成28年度の状況 学科及び募集学級数			H28 欠員	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32～35年度までの見通し		摘要
	普通	職業	計							
岩見沢東	5		5	0				○4年間で2～3学級相当の調整が必要		
単 岩見沢西	4		4	37			普▲1	○欠員の状況やこれまでの調整、学校・学科の配置状況を考慮し、岩見沢市内及び岩見沢市周辺市町において、再編整備を含めた公立高校全体での定員調整の検討が必要		
岩見沢農業		農 7	7	-2				○小規模校について、中卒者数や地元からの進学状況、学校・学科の配置状況などを考慮し、学級減や再編整備を含め、その在り方の検討が必要		
*岩見沢緑陵	4	商 2	6	19				○地理的状況から再編が困難であり、かつ地元からの進学率が高い小規模校については、地域キャンパス校化の検討が必要		
総 美唄尚栄	3		3	26						
美唄聖華		看 2	2	0						
*三 笠		家 1	1	0						
月 形	2→1		1	13	普+1 (計画変更)					H28二次募集後学級減
夕 張	1		1	20						
長 沼	2		2	20						
栗 山	2		2	16						
南 幌	1		1	21						
12校	24 →23	12	35	170	普+1		普▲1			

注1 学科種別の「普通」には、普通科のほか、総合学科、理数、外国語、体育等の専門学科を含む。(以下同)

注2 学校名の「単」は全日制普通科単位制、「総」は総合学科、「フ」はフィールド制、「中高」は連携型中高一貫教育校、「中等」は中等教育学校、「地」は地域キャンパス校、「産」は産業キャンパス。(以下同)

注3 学校名の\*は市町村立学校。(以下同)

注4 ( ) は定時制課程(計欄には含まない、関係学校のみ表示)。(以下同)

注5 平成28年度募集学級数の「→」表示は、第2次募集後の学級減を実施したことを示す。(以下同)

注6 「平成32～35年度までの見通し」欄の学級数の調整については平成35年と平成31年の中卒者数の比較により算出。(以下同)

### 空知北学区高校配置計画

区 分	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	H 3 2	H 3 3	H 3 4	H 3 5	平成29～35 年までの 増減	平成32～35 年までの 増減
学区内中卒者数	1,147	1,124	1,031	993	951	856	901	851	▲ 296	▲ 142
対前年増減		▲ 23	▲ 93	▲ 38	▲ 42	▲ 95	+ 45	▲ 50		
滝川市中卒者数	( 344 )	( 350 )	( 320 )	( 323 )	( 314 )	( 279 )	( 328 )	( 302 )	▲ 42	▲ 21
対前年増減		+ 6	▲ 30	+ 3	▲ 9	▲ 35	+ 49	▲ 26		
砂川市中卒者数	( 159 )	( 157 )	( 146 )	( 137 )	( 133 )	( 126 )	( 119 )	( 111 )	▲ 48	▲ 26
対前年増減		▲ 2	▲ 11	▲ 9	▲ 4	▲ 7	▲ 7	▲ 8		
歌志内市中卒者数	( 21 )	( 30 )	( 21 )	( 15 )	( 21 )	( 16 )	( 13 )	( 12 )	▲ 9	▲ 3
対前年増減		9	▲ 9	▲ 6	+ 6	▲ 5	▲ 3	▲ 1		
芦別市中卒者数	( 104 )	( 102 )	( 95 )	( 78 )	( 78 )	( 77 )	( 80 )	( 54 )	▲ 50	▲ 24
対前年増減		▲ 2	▲ 7	▲ 17	± 0	▲ 1	+ 3	▲ 26		
赤平市中卒者数	( 82 )	( 76 )	( 75 )	( 62 )	( 52 )	( 42 )	( 54 )	( 65 )	▲ 17	3
対前年増減		▲ 6	▲ 1	▲ 13	▲ 10	▲ 10	+ 12	+ 11		
深川市中卒者数	( 162 )	( 167 )	( 133 )	( 160 )	( 142 )	( 122 )	( 123 )	( 127 )	▲ 35	▲ 33
対前年増減		+ 5	▲ 34	+ 27	▲ 18	▲ 20	+ 1	+ 4		
学校名	平成28年度の状況 学科及び募集学級数			H28 欠員	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32～35年度までの見通し		摘要
	普通	職業	計							
滝 川	6		6	0				○4年間で3～4学級相当の調整が必要		
滝川工業		工 2	2	14				○欠員の状況やこれまでの調整を考慮し、再編整備や学校・学科の配置の在り方を含めた定員調整の検討が必要		
*滝川西	3	商 4	7	6		商▲1 (計画変更)		○滝川市内において、再編を含めた定員調整の検討が必要		
単 砂 川	4→3		3	32				○深川市内において、再編を含めた定員調整の検討が必要		H28二次募集後学級減
奈井江商業		商 1	1	5				○欠員が40人以上生じている学校について、学科の見直しや定員調整などについて検討が必要		
新十津川農業		農 1	1	8				○小規模校について、中卒者数やこれまでの進学状況、学校・学科の配置状況などを考慮し、学級減や再編整備を含め、その在り方の検討が必要		
芦 別	3		3	13						
深川西	4		4	25						
深川東		農 1 商 2	3	78						
9校	20 →19	11	30	181		商▲1				

### 石狩学区高校配置計画

区 分	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	H 3 2	H 3 3	H 3 4	H 3 5	平成29～35 年までの 増減	平成32～35 年までの 増減	
学区内中卒者数	19,818	20,093	19,883	19,743	18,925	18,504	19,034	18,975	▲ 843	▲ 768	
対前年増減		+ 275	▲ 210	▲ 140	▲ 818	▲ 421	+ 530	▲ 59			
札幌市中卒者数	( 15,482 )	( 15,797 )	( 15,727 )	( 15,566 )	( 14,968 )	( 14,799 )	( 15,238 )	( 15,360 )	▲ 122	▲ 206	
対前年増減		+ 315	▲ 70	▲ 161	▲ 598	▲ 169	+ 439	+ 122			
江別市中卒者数	( 1,302 )	( 1,246 )	( 1,195 )	( 1,137 )	( 1,031 )	( 927 )	( 943 )	( 812 )	▲ 490	▲ 325	
対前年増減		▲ 56	▲ 51	▲ 58	▲ 106	▲ 104	+ 16	▲ 131			
千歳市中卒者数	( 887 )	( 905 )	( 956 )	( 898 )	( 848 )	( 876 )	( 882 )	( 850 )	▲ 37	▲ 48	
対前年増減		+ 18	+ 51	▲ 58	▲ 50	+ 28	+ 6	▲ 32			
恵庭市中卒者数	( 707 )	( 678 )	( 656 )	( 679 )	( 627 )	( 599 )	( 640 )	( 650 )	▲ 57	▲ 29	
対前年増減		▲ 29	▲ 22	+ 23	▲ 52	▲ 28	+ 41	+ 10			
北広島市中卒者数	( 662 )	( 714 )	( 648 )	( 721 )	( 679 )	( 620 )	( 636 )	( 652 )	▲ 10	▲ 69	
対前年増減		+ 52	▲ 66	+ 73	▲ 42	▲ 59	+ 16	+ 16			
石狩市中卒者数	( 592 )	( 561 )	( 533 )	( 585 )	( 624 )	( 557 )	( 555 )	( 542 )	▲ 50	▲ 43	
対前年増減		▲ 31	▲ 28	+ 52	+ 39	▲ 67	▲ 2	▲ 13			
学校名	平成28年度の状況 学科及び募集学級数			H28 欠員	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32～35年度までの見通し		摘要	
	普通	職業	計								
札幌東	8		8	1				○4年間で13～14学級相当の調整が必要 ○各区、市町村ごとの中卒者数の状況、 欠員の状況やこれまでの調整などを考 慮した定員調整の検討が必要 ○札幌市内については、中卒者数の減に あわせて、生徒急増期に新設した高校 を中心とした再編を含め、公立高校全 体での定員調整の検討が必要			
札幌西	8		8	-1							
札幌南	8		8	-1							
札幌北	8		8	-2							
札幌月寒	8		8	-2							
札幌啓成	8		8	-2							
札幌北陵	8		8	-1							
単 札幌手稲	8		8	-1							
フ 札幌丘珠	8		8	-1							
札幌西陵	7		7	-2	普+1						
単 札幌白石	7		7	0	普+1						
単 札幌東陵	8		8	0							
札幌南陵	6		6	7		普▲1					
札幌東豊	8		8	6			普▲1				
総 札幌厚別	7		7	0	総+1	総▲1					
札幌真栄	4		4	0							
フ 札幌あすかぜ	8		8	9							
札幌稲雲	7		7	-1							
フ 札幌平岡	6		6	0							
単 札幌英藍	8		8	0							

学校名	平成28年度の状況 学科及び募集学級数			H28 欠員	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32～35年度までの見通し	摘要
	普通	職業	計						
単 札幌白陵	4		4	0					
札幌国際情報	4	工 商 1 3	8	-3					
江 別	5	商 家 2 1	8	0					
フ 野 幌	7		7	36					
単 大 麻	7		7	-1					
千 歳	7	商 2	9	-1					
フ 千歳北陽	6		6	8					
単 北 広 島	8		8	-1					
北広島西	7		7	0	普+1				
石 狩 南	8		8	1		普▲1			
当 別	3	農 家 1 1	5	34					
恵 庭 南	8		8	2					
恵 庭 北	7		7	1					
札幌工業		工 8	8	-1					
札幌琴似工業		工 8	8	-1					
札幌東商業		商 8	8	0					
総 石狩翔陽	8		8	1					
単 *札幌旭丘	8		8	-4					
*札幌藻岩	8		8	0					
*札幌平岸	8		8	-4					
*札幌清田	8		8	0					
中 等									
*市立札幌開成	4		4	-1					コスモサイエンス科単位制
*札幌新川	8		8	-1					
*札幌啓北商業		商 6	6	0					
44校	281	41	322	74	普+3 総+1	普▲2 総▲1	普▲1		



### 後志学区高校配置計画

区 分	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	H 3 2	H 3 3	H 3 4	H 3 5	平成29～35 年までの 増減	平成32～35 年までの 増減
学区内中卒者数	1,698	1,732	1,684	1,596	1,460	1,416	1,440	1,391	▲ 307	▲ 205
対前年増減		+ 34	▲ 48	▲ 88	▲ 136	▲ 44	+ 24	▲ 49		
小樽市中卒者数	( 935 )	( 940 )	( 927 )	( 870 )	( 783 )	( 785 )	( 781 )	( 737 )	▲ 198	▲ 133
対前年増減		+ 5	▲ 13	▲ 57	▲ 87	+ 2	▲ 4	▲ 44		
学校名	平成28年度の状況 学科及び募集学級数				平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32～35年度までの見通し		摘要
	普通	職業	計	H28 欠員				○4年間で3～4学級相当の調整が必要 ○欠員の状況や学校・学科の配置状況を考慮し、小樽市内及び小樽市周辺町において、定員調整の検討が必要 ○小規模校について、中卒者数やこれまでの進学状況、学校・学科の配置状況などを考慮し、学級減や再編整備を含め、その在り方の検討が必要 ○農業科について、町村立高校を含めた配置の在り方の検討が必要		
小樽潮陵	6		6	-1						
単 小樽桜陽	6		6	0						
小樽商業		商 2	2	1		商▲2				
小樽工業		工 3	3	0		工▲3				
新設校					商+2、工+2 商業及び工業に 単位制導入 (計画変更)					小樽工業校舎を使用
小樽水産		水 4	4	1						
総 余市紅志	2→1		1	8	総+1 (計画変更)					H28二次募集後学級減
岩 内	3	商 1	4	37	普通に単位制導入					寿都のセンター校
地 寿 都	1		1	11						
共 和	1		1	34	普▲1					
単 倶 知 安	4		4	18						蘭越のセンター校
地 蘭 越	1		1	19						
倶知安農業		農 1	1	16						
12校	24 →23	11	34	144	普▲1 総+1	商▲2、工▲3 商+2、工+2				

### 胆振西学区高校配置計画

区 分	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	H 3 2	H 3 3	H 3 4	H 3 5	平成29～35 年までの 増減	平成32～35 年までの 増減
学区内中卒者数	1,549	1,596	1,580	1,535	1,467	1,364	1,389	1,346	▲ 203	▲ 189
対前年増減		+ 47	▲ 16	▲ 45	▲ 68	▲ 103	+ 25	▲ 43		
室蘭市中卒者数	( 665 )	( 722 )	( 693 )	( 672 )	( 621 )	( 597 )	( 544 )	( 549 )	▲ 116	▲ 123
対前年増減		+ 57	▲ 29	▲ 21	▲ 51	▲ 24	▲ 53	+ 5		
登別市中卒者数	( 457 )	( 476 )	( 440 )	( 495 )	( 411 )	( 387 )	( 431 )	( 405 )	▲ 52	▲ 90
対前年増減		+ 19	▲ 36	+ 55	▲ 84	▲ 24	+ 44	▲ 26		
伊達市中卒者数	( 303 )	( 282 )	( 303 )	( 275 )	( 310 )	( 274 )	( 286 )	( 281 )	▲ 22	+ 6
対前年増減		▲ 21	+ 21	▲ 28	+ 35	▲ 36	+ 12	▲ 5		
学校名	平成28年度の状況 学科及び募集学級数			H28 欠員	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32～35年度までの見通し		摘要
	普通	職業	計					○4年間で3～4学級相当の調整が必要 ○これまでの調整の状況や学校・学科の配置状況を考慮し、室蘭市内や登別市内において定員調整の検討が必要 ○伊達市内において、欠員の状況や望ましい学校規模を下回る学校があることを考慮し、再編を含めた定員調整の検討が必要		
室 蘭 栄	6		6	0						
単 室蘭清水丘	4		4	0						
総 室蘭東翔	5		5	1						
室蘭工業		工 5	5	43			工▲1			
登別青嶺	4		4	6						
中 登別明日	2		2	5						
伊 達	3		3	11						
伊達緑丘	4		4	21						
地 虻 田		商 1	1	18						
*壮 警		農 1	1	19						
10校	28	7	35	124			工▲1			虻田のセンター校

### 胆振東学区高校配置計画

区 分	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	H 3 2	H 3 3	H 3 4	H 3 5	平成29～35 年までの 増減	平成32～35 年までの 増減	
学区内中卒者数	1,815	1,847	1,894	1,745	1,792	1,713	1,750	1,672	▲ 143	▲ 73	
対前年増減		+ 32	+ 47	▲ 149	+ 47	▲ 79	+ 37	▲ 78			
苫小牧市中卒者数	( 1,499 )	( 1,573 )	( 1,609 )	( 1,477 )	( 1,537 )	( 1,456 )	( 1,498 )	( 1,458 )	▲ 41	▲ 19	
対前年増減		+ 74	+ 36	▲ 132	+ 60	▲ 81	+ 42	▲ 40			
学校名	平成28年度の状況 学科及び募集学級数				H28 欠員	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32～35年度までの見通し		摘要
	普通	職業	計						○4年間で1～2学級相当の調整が必要 ○欠員の状況やこれまでの調整を考慮し、苫小牧市内及び苫小牧市周辺町において、再編整備を含めた定員調整の検討が必要 ○小規模校について、中卒者数やこれまでの進学状況、学校・学科の配置状況などを考慮し、学級減や再編整備を含め、その在り方の検討が必要		
苫小牧東	6		6	0							厚真のセンター校
苫小牧西	4		4	1							穂別のセンター校
単 苫小牧南	5		5	6			普▲1				
苫小牧工業		工 6	6	0							
苫小牧総合経済		商 4	4	-1							
白老東	2		2	3							
地 厚 真	1		1	17							
地 穂 別	1		1	24							第1学年在籍者20人未満
追 分	1		1	0							
中高 鷗 川	2		2	17							
10校	22	10	32	67			普▲1				

### 日高学区高校配置計画

区 分	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	H 3 2	H 3 3	H 3 4	H 3 5	平成29～35 年までの 増減	平成32～35 年までの 増減
学区内中卒者数	637	605	584	548	521	504	558	516	▲ 121	▲ 32
対前年増減		▲ 32	▲ 21	▲ 36	▲ 27	▲ 17	+ 54	▲ 42		
浦河町中卒者数	( 131 )	( 105 )	( 120 )	( 101 )	( 103 )	( 94 )	( 83 )	( 88 )	▲ 43	▲ 13
対前年増減		▲ 26	+ 15	▲ 19	+ 2	▲ 9	▲ 11	+ 5		
学校名	平成28年度の状況 学科及び募集学級数 普通   職業   計			H28 欠員	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32～35年度までの見通し		摘要
単 静 内	5		5	33				○4年間で0～1学級相当の調整が必要 ○中卒者数や欠員の状況を考慮した定員調整の検討が必要 ○小規模校について、中卒者数や地元からの進学状況、学校・学科の配置状況などを考慮し、学級減や再編整備を含め、その在り方の検討が必要 ○地理的状況から再編が困難であり、かつ地元からの進学率が高い小規模校については、地域キャンパス校化の検討が必要		平取のセンター校
静内農業		農 2	2	23						
富 川	1		1	9						
地 平 取	1		1	14						
総 浦 河	4		4	12						
中高 *えりも	2		2	54						
6校	13	2	15	145						

### 渡島学区高校配置計画

区 分	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	H 3 2	H 3 3	H 3 4	H 3 5	平成29～35 年までの 増減	平成32～35 年までの 増減
学区内中卒者数	3,459	3,298	3,254	3,246	3,125	2,942	2,959	2,773	▲ 686	▲ 473
対前年増減		▲ 161	▲ 44	▲ 8	▲ 121	▲ 183	+ 17	▲ 186		
函館市中卒者数	( 2,223 )	( 2,112 )	( 2,032 )	( 2,072 )	( 1,966 )	( 1,847 )	( 1,897 )	( 1,772 )	▲ 451	▲ 300
対前年増減		▲ 111	▲ 80	+ 40	▲ 106	▲ 119	+ 50	▲ 125		
北斗市中卒者数	( 461 )	( 457 )	( 498 )	( 476 )	( 450 )	( 421 )	( 445 )	( 413 )	▲ 48	▲ 63
対前年増減		▲ 4	+ 41	▲ 22	▲ 26	▲ 29	+ 24	▲ 32		
学校名	平成28年度の状況 学科及び募集学級数			H28 欠員	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32～35年度までの見通し		摘要
	普通	職業	計							
函館中部	6		6	1				○4年間で7～8学級相当の調整が必要 ○中卒者数やこれまでの調整、学校・学科の配置状況を考慮し、函館市内において、定員調整の検討が必要 ○中卒者数を考慮し、学校・学科の配置の在り方も含め、北斗市内において、再編の検討が必要 ○欠員が40人以上生じている学校について、学科の見直しや定員調整などについて検討が必要 ○小規模校について、中卒者数やこれまでの進学状況、学校・学科の配置状況などを考慮し、再編整備を含め、その在り方の検討が必要 ○地理的状况から再編が困難であり、かつ地元からの進学率が高い小規模校については、地域キャンパス校化の検討が必要	南茅部のセンター校	
函館西	4		4	0	普▲1		普▲3			
函館稜北	3		3	0			普▲3			
新設校							+6 (学科検討中)			函館西校舎を使用
単 *市立函館	8		8	0		普▲2				
函館水産		水 4	4	-2						
函館商業		商 4	4	0						福島商業のセンター校
函館工業		工 6	6	0						
(函館工業)		(工2)	(2)	(62)	[ 工▲1 ]					
地 南茅部	1		1	21						第1学年在籍者20人未満
上 磯	2→1		1	7	普▲1→0 (計画変更)				H28二次募集後学級減	
七 飯	3		3	3						
大野農業		農 4	4	45						
松 前	2→1		1	17					H28二次募集後学級減	
*知内	2		2	12						
地 福島商業		商 1	1	25					第1学年在籍者20人未満	
八 雲	3	商 1	4	42					長万部のセンター校	
総 森	3→2		2	0	総+1 (計画変更)				H28二次募集後学級減	
地 長万部	1		1	14						
17校	38 →35	20	55	185	普▲1 総+1 (工▲1)	普▲2	普▲6 (学科検討中) +6			

**檜山学区高校配置計画**

区 分	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	H 3 2	H 3 3	H 3 4	H 3 5	平成29～35 年までの 増減	平成32～35 年までの 増減
学区内中卒者数	325	313	294	291	247	236	218	216	▲ 109	▲ 75
対前年増減		▲ 12	▲ 19	▲ 3	▲ 44	▲ 11	▲ 18	▲ 2		
江差町中卒者数	( 63 )	( 69 )	( 70 )	( 49 )	( 54 )	( 47 )	( 38 )	( 50 )	▲ 13	1
対前年増減		+ 6	+ 1	▲ 21	+ 5	▲ 7	▲ 9	+ 12		
学校名	平成28年度の状況 学科及び募集学級数 普通 職業 計			H28 欠員	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32～35年度までの見通し		摘要
単 江 差	3		3	5				○4年間で1～2学級相当の調整が必要 ○中卒者数や欠員の状況を考慮し、学区全体の高校配置の在り方について検討が必要 ○小規模校について、中卒者数やこれまでの進学状況、学校・学科の配置状況などを考慮し、学級減や再編整備を含め、その在り方の検討が必要 ○地理的状況から再編が困難であり、かつ地元からの進学率が高い小規模校については、地域キャンパス校化の検討が必要		
上ノ国	1		1	3						
総 檜 山 北	3		3	31						
*奥 尻	1		1	29	中高一貫教育導入 (計画変更)					
4校	8	0	8	68						

### 上川南学区高校配置計画

区 分	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	H 3 2	H 3 3	H 3 4	H 3 5	平成29~35 年までの 増減	平成32~35 年までの 増減	
学区内中卒者数	3,805	3,900	3,655	3,766	3,579	3,435	3,512	3,386	▲ 419	▲ 380	
対前年増減		+ 95	▲ 245	+ 111	▲ 187	▲ 144	+ 77	▲ 126			
旭川市中卒者数	( 2,864 )	( 2,979 )	( 2,705 )	( 2,905 )	( 2,710 )	( 2,623 )	( 2,713 )	( 2,601 )	▲ 263	▲ 304	
対前年増減		+ 115	▲ 274	+ 200	▲ 195	▲ 87	+ 90	▲ 112			
富良野市中卒者数	( 214 )	( 218 )	( 227 )	( 185 )	( 196 )	( 168 )	( 174 )	( 176 )	▲ 38	▲ 9	
対前年増減		+ 4	+ 9	▲ 42	+ 11	▲ 28	+ 6	+ 2			
学校名	平成28年度の状況 学科及び募集学級数				平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32～35年度までの見通し		摘要	
	普通	職業	計	H28 欠員							
旭川東	7		7	-1				○4年間で6～7学級相当の調整が必要  ○中卒者数やこれまでの進学状況、定員調整の状況などを考慮し、旭川市内や旭川市周辺町及び富良野市周辺町において、学校・学科の配置の在り方を含めた再編整備や定員調整の検討が必要  ○欠員が40人以上生じている学校について、学科の見直しや定員調整などについて検討が必要  ○小規模校について、中卒者数やこれまでの進学状況、学校・学科の配置状況などを考慮し、学級減や再編整備を含め、その在り方の検討が必要  ○複数の学科を設置している職業高校の定時制課程について、いずれかの学科で5月1日現在の第1学年の在籍者が10人未満となりその後の増が見込まれない場合は、学科の見直しを含めた再編整備の検討が必要			
旭川西	6		6	0							
単 旭川北	6		6	0	普+1	普▲1					
総 旭川南	6		6	0							
単 旭川永鎮	7		7	4							
旭川商業		商 6	6	0							
旭川工業		工 7	7	0		工▲1					
旭川農業		農 4	4	-1							
鷹 栖	1		1	0							
東 川	2		2	0							
美 瑛	2		2	26							
中高 上 川	2→1		1	6	普+1 (計画変更)						H28二次募集後学級減
単 富良野	4		4	0							
富良野緑峰		農 1 工 1 商 2	4	65							
上富良野	1		1	4							
*南富良野	1		1	14							
16校	45 →44	21	65	117	普+2	普▲1 工▲1					

### 上川北学区高校配置計画

上川北学区高校配置計画											
区 分	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	H 3 2	H 3 3	H 3 4	H 3 5	平成29～35 年までの 増減	平成32～35 年までの 増減	
学区内中卒者数	500	552	541	482	468	455	466	446	▲ 54	▲ 36	
対前年増減		+ 52	▲ 11	▲ 59	▲ 14	▲ 13	+ 11	▲ 20			
士別市中卒者数	( 160 )	( 175 )	( 177 )	( 148 )	( 142 )	( 141 )	( 130 )	( 142 )	▲ 18	▲ 6	
対前年増減		+ 15	+ 2	▲ 29	▲ 6	▲ 1	▲ 11	+ 12			
名寄市中卒者数	( 217 )	( 231 )	( 241 )	( 207 )	( 202 )	( 179 )	( 227 )	( 185 )	▲ 32	▲ 22	
対前年増減		+ 14	+ 10	▲ 34	▲ 5	▲ 23	+ 48	▲ 42			
学校名	平成28年度の状況 学科及び募集学級数			H28 欠員	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32～35年度までの見通し			摘要
	普通	職業	計					○4年間で0～1学級相当の調整が必要  ○中卒者数や欠員の状況、学校・学科の配置状況などを考慮し、名寄市内での早急な定員調整の検討が必要  ○欠員が40人以上生じている学校について、学科の見直しや定員調整などについて検討が必要  ○小規模校について、中卒者数やこれまでの進学状況、学校・学科の配置状況などを考慮し、学級減や再編整備を含め、その在り方の検討が必要			下川商業のセンター校
士別翔雲	3	商 1	4	38							
地 下川商業		商 1	1	14							
名 寄	4		4	23							美深のセンター校
地 美 深	1		1	20							
産 名寄産業		農 1 工 2 家 1	4	77							
総 *剣 淵	1		1	10							
*おといねっぶ 美術工芸	1		1	0							
7校	10	6	16	182							



### 留萌学区高校配置計画

区 分	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	H 3 2	H 3 3	H 3 4	H 3 5	平成29～35 年までの 増減	平成32～35 年までの 増減
学区内中卒者数	356	348	333	361	344	308	292	303	▲ 53	▲ 58
対前年増減		▲ 8	▲ 15	+ 28	▲ 17	▲ 36	▲ 16	+ 11		
留萌市中卒者数	( 165 )	( 159 )	( 128 )	( 153 )	( 145 )	( 158 )	( 132 )	( 136 )	▲ 29	▲ 17
対前年増減		▲ 6	▲ 31	+ 25	▲ 8	+ 13	▲ 26	+ 4		
学校名	平成28年度の状況 学科及び募集学級数			H28 欠員	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32～35年度までの見通し		摘要
	普通	職業	計							
単 留 萌	4		4	14		普▲4			○4年間で1～2学級相当の調整が必要 ○中卒者数や欠員の状況を考慮した定員調整の検討が必要 ○小規模校について、中卒者数やこれまでの進学状況、学校・学科の配置状況などを考慮し、学級減や再編整備を含め、その在り方の検討が必要 ○地理的状況から再編が困難であり、かつ地元からの進学率が高い小規模校については地域キャンパス校化の検討が必要 ○農業に関する学科を置く第1学年1学級の高校について、5月1日現在の第1学年の在籍者が20人未満となり、その後も生徒数の増が見込まれない場合は、再編整備の検討が必要	苫前商業のセンター校
留萌千望		工1 商1	2	15		工▲1 商▲1				
新設校					普+4、工+1 商+1 普通に単位制導入					留萌千望校舎を使用
羽 幌	2		2	34						
地 苫前商業		商1	1	23						第1学年在籍者20人未満
天 塩	2		2	39						
遠別農業		農1	1	23						
6校	8	4	12	148		普▲4、工▲1 商▲1、普+4 工+1、商+1				

### 宗谷学区高校配置計画

宗谷学区高校配置計画										
区 分	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	H 3 2	H 3 3	H 3 4	H 3 5	平成29～35 年までの 増減	平成32～35 年までの 増減
学区内中卒者数	555	560	600	519	525	502	508	465	▲ 90	▲ 54
対前年増減		+ 5	+ 40	▲ 81	+ 6	▲ 23	+ 6	▲ 43		
稚内市中卒者数	( 310 )	( 292 )	( 320 )	( 264 )	( 278 )	( 259 )	( 262 )	( 237 )	▲ 73	▲ 27
対前年増減		▲ 18	+ 28	▲ 56	+ 14	▲ 19	+ 3	▲ 25		
学校名	平成28年度の状況 学科及び募集学級数			H28 欠員	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32～35年度までの見通し		摘要
	普通	職業	計							
稚 内	3	商 1 看 1	5	26					<ul style="list-style-type: none"> <li>○4年間で1～2学級相当の調整が必要</li> <li>○中卒者数やこれまでの定員調整の状況、欠員の状況を考慮した定員調整の検討が必要</li> <li>○欠員が40人以上生じている学校について、学科の見直しや定員調整などについて検討が必要</li> <li>○生徒の多様な学習ニーズに対応した新しいタイプの高校の導入について、早急な検討が必要</li> <li>○小規模校について、中卒者数やこれまでの進学状況、学校・学科の配置状況などを考慮し、学級減や再編整備を含め、その在り方の検討が必要</li> <li>○地理的状况から再編が困難であり、かつ地元からの進学率が高い小規模校については、地域キャンパス校化の検討が必要</li> <li>○離島にある高校について、5月1日現在の第1学年の在籍者が10人未満となり、その後も生徒数の増が見込まれない場合は、再編整備の検討が必要</li> </ul>	豊富なセンター校  第1学年在籍者20人未満
地 豊 富	1		1	21						
浜 頓 別	2		2	38						
枝 幸	2		2	17						
利 尻	1	商 1	2	58						
礼 文	1		1	33						
6校	10	3	13	193						

## オホーツク中学区高校配置計画

区 分	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	H 3 2	H 3 3	H 3 4	H 3 5	平成29～35 年までの 増減	平成32～35 年までの 増減
学区内中卒者数	1,375	1,337	1,388	1,257	1,253	1,155	1,189	1,146	▲ 229	▲ 111
対前年増減		▲ 38	+ 51	▲ 131	▲ 4	▲ 98	+ 34	▲ 43		
北見市中卒者数	( 1,021 )	( 1,029 )	( 1,059 )	( 954 )	( 947 )	( 881 )	( 892 )	( 908 )	▲ 113	▲ 46
対前年増減		+ 8	+ 30	▲ 105	▲ 7	▲ 66	+ 11	+ 16		
学校名	平成28年度の状況 学科及び募集学級数			H28 欠員	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32～35年度までの見通し		摘要
	普通	職業	計							
北見北斗	6		6	18				○4年間で2～3学級相当の調整が必要		常呂のセンター校
単 北見柏陽	6		6	0			普▲1	○中卒者数や欠員の状況を考慮し、北見市内及び北見市周辺町において、学校・学科の配置の在り方を含めた再編整備や定員調整の検討が必要		佐呂間のセンター校
フ 北見緑陵	4		4	-2				○欠員が40人以上生じている学校について、学科の見直しや定員調整などについて検討が必要		
北見工業		工 3	3	1				○小規模校について、中卒者数やこれまでの進学状況、学校・学科の配置状況などを考慮し、学級減や再編整備を含め、その在り方の検討が必要		
北見商業		商 4	4	10			商▲1	○地理的状況から再編が困難であり、かつ地元からの進学率が高い小規模校については、地域キャンパス校化の検討が必要		
置 戸		福 1	1	13						
総 留 辺 藁	1		1	11						
地 佐 呂 間	1		1	12						
地 常 呂	1		1	25						第1学年在籍者20人未満
訓 子 府	1		1	-1						
地 津 別	1		1	5						
美 幌	2	農 2	4	60						津別のセンター校
12校	23	10	33	152			普▲1 商▲1			

**オホーツク東学区高校配置計画**

区 分	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	H 3 2	H 3 3	H 3 4	H 3 5	平成29～35 年までの 増減	平成32～35 年までの 増減
学区内中卒者数	597	552	541	529	498	488	481	448	▲ 149	▲ 81
対前年増減		▲ 45	▲ 11	▲ 12	▲ 31	▲ 10	▲ 7	▲ 33		
網走市中卒者数	( 335 )	( 335 )	( 308 )	( 300 )	( 278 )	( 290 )	( 261 )	( 245 )	▲ 90	▲ 55
対前年増減		± 0	▲ 27	▲ 8	▲ 22	+ 12	▲ 29	▲ 16		
学校名	平成28年度の状況 学科及び募集学級数			H28 欠員	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32～35年度までの見通し		摘要
	普通	職業	計							
単 網走南ヶ丘	5		5	4				○4年間で2～3学級相当の調整が必要 ○中卒者数や欠員の状況を考慮した定員調整の検討が必要 ○大空町において、学校・学科の配置の在り方も含め、再編の検討が必要 ○小規模校について、中卒者数やこれまでの進学状況、学校・学科の配置状況などを考慮し、学級減や再編整備を含め、その在り方の検討が必要		清里のセンター校
網走桂陽	2	商 2	4	12						
女 満 別	1		1	12						
総 斜 里	2		2	26						
地 清 里	1		1	4	普+1 (計画変更)					
5校	11	2	13	58	普+1					

## オホーツク西学区高校配置計画

区 分		H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	H 3 2	H 3 3	H 3 4	H 3 5	平成29～35 年までの 増減	平成32～35 年までの 増減
学区内中卒者数		551	526	492	522	472	456	425	422	▲ 129	▲ 100
対前年増減			▲ 25	▲ 34	+ 30	▲ 50	▲ 16	▲ 31	▲ 3		
紋別市中卒者数		( 189 )	( 183 )	( 153 )	( 171 )	( 142 )	( 155 )	( 140 )	( 130 )	▲ 59	▲ 41
対前年増減			▲ 6	▲ 30	+ 18	▲ 29	+ 13	▲ 15	▲ 10		
学校名	平成28年度の状況 学科及び募集学級数			H28 欠員	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32～35年度までの見通し			摘要
	普通	職業	計								
単 遠 軽	5		5	17				○4年間で2～3学級相当の調整が必要			興部のセンター校
紋 別	3	工 1 商 1	5	42				○中卒者数や欠員の状況、学校・学科の配置状況を考慮した定員調整の検討が必要			
地 興 部	1		1	7				○欠員が40人以上生じている学校について、学科の見直しや定員調整などについて検討が必要			
滝 上	1		1	27	普▲1			○小規模校について、中卒者数やこれまでの進学状況、学校・学科の配置状況などを考慮し、学級減や再編整備を含め、その在り方の検討が必要			
雄 武	1		1	16				○地理的状況から再編が困難であり、かつ地元からの進学率が高い小規模校については、地域キャンパス校化の検討が必要			
中高 湧 別	2→1		1	5	普+1 (計画変更)						H28二次募集後学級減
6校	13 →12	2	14	114	普▲1 普+1						

十勝学区高校配置計画

区 分	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	H 3 2	H 3 3	H 3 4	H 3 5	平成29～35 年までの 増減	平成32～35 年までの 増減
学区内中卒者数	3,190	3,103	3,074	3,082	2,995	2,872	2,873	2,914	▲ 276	▲ 168
対前年増減		▲ 87	▲ 29	+ 8	▲ 87	▲ 123	+ 1	+ 41		
帯広市中卒者数	( 1,471 )	( 1,406 )	( 1,381 )	( 1,370 )	( 1,357 )	( 1,275 )	( 1,313 )	( 1,323 )	▲ 148	▲ 47
対前年増減		▲ 65	▲ 25	▲ 11	▲ 13	▲ 82	+ 38	+ 10		
学校名	平成28年度の状況 学科及び募集学級数			H28 欠員	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32～35年度までの見通し		摘要
	普通	職業	計					○4年間で3～4学級相当の調整が必要 ○これまでの調整や生徒の進路動向を考慮し、帯広市内において、学校・学科の配置の在り方を含めた公立高校全体での再編整備や定員調整の検討が必要 ○小規模校について、中卒者数やこれまでの進学状況、学校・学科の配置状況などを考慮し、学級減や再編整備を含め、その在り方の検討が必要 ○地理的状況から再編が困難であり、かつ地元からの進学率が高い小規模校については、地域キャンパス校化の検討が必要		
帯広柏葉	7		7	2						
単 帯広三条	7		7	0		普▲1				
帯広緑陽	4		4	-1						
帯広工業		工 4	4	0						
帯広農業		農 5	5	0						
*帯広南商業		商 5	5	0						
単 音 更	4		4	6						
芽 室	4		4	0						
幕 別	1		1	9						
上 土 幌	2		2	20						
*土 幌		農 2	2	40						
総 清 水	4		4	17						
新 得	1		1	23	普▲1					
中高 鹿 追	2		2	1						
更別農業		農 2	2	33						
大 樹	2		2	28						
中高 広 尾	2		2	37						
総 池 田	2		2	11						
本 別	2→1		1	7	普+1 (計画変更)					
足 寄	2		2	29						
20校	46 →45	18	63	262	普▲1 普+1	普▲1				

### 釧路学区高校配置計画

区 分	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	H 3 2	H 3 3	H 3 4	H 3 5	平成29～35 年までの 増減	平成32～35 年までの 増減	
学区内中卒者数	2,024	2,056	1,995	1,980	1,868	1,792	1,825	1,787	▲ 237	▲ 193	
対前年増減		+ 32	▲ 61	▲ 15	▲ 112	▲ 76	+ 33	▲ 38			
釧路市中卒者数	( 1,442 )	( 1,516 )	( 1,446 )	( 1,433 )	( 1,360 )	( 1,310 )	( 1,339 )	( 1,337 )	▲ 105	▲ 96	
対前年増減		+ 74	▲ 70	▲ 13	▲ 73	▲ 50	+ 29	▲ 2			
学校名	平成28年度の状況 学科及び募集学級数			H28 欠員	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32～35年度までの見通し		摘要	
	普通	職業	計								
釧路湖陵	6		6	-4				○4年間で4～5学級相当の調整が必要  ○これまでの調整や生徒の進路動向を考慮し、釧路市内及び釧路市周辺町において、学校・学科の配置の在り方を含めた公立高校全体での再編整備や定員調整の検討が必要  ○小規模校について、中卒者数やこれまでの進学状況、学校・学科の配置状況などを考慮し、学級減や再編整備を含め、その在り方の検討が必要  ○地理的状況から再編が困難であり、かつ地元からの進学率が高い小規模校については、地域キャンパス校化の検討が必要		阿寒のセンター校	
単 釧路江南	6		6	0		普▲1					
釧路商業		商 4	4	2							
釧路工業		工 6	6	0							
総 釧路明輝	5		5	-1							
フ *釧路北陽	6		6	0							
釧路東	3		3	1							
地 阿 寒	1		1	19							
白 糠	2→1		1	6	普+1 (計画変更)						H28二次募集後学級減
総 標 茶	3		3	36							
弟子屈	2→1		1	1	普+1 (計画変更)						H28二次募集後学級減
厚岸翔洋	1	水 1	2	27							
*霧 多 布	2		2	28							
13校	37 →35	11	46	115	普+2	普▲1					

## 根室学区高校配置計画

区 分	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	H 3 2	H 3 3	H 3 4	H 3 5	平成29～35 年までの 増減	平成32～35 年までの 増減	
学区内中卒者数	753	807	714	730	736	647	666	646	▲ 107	▲ 84	
対前年増減		+ 54	▲ 93	+ 16	+ 6	▲ 89	+ 19	▲ 20			
根室市中卒者数	( 266 )	( 251 )	( 206 )	( 200 )	( 214 )	( 197 )	( 201 )	( 195 )	▲ 71	▲ 5	
対前年増減		▲ 15	▲ 45	▲ 6	+ 14	▲ 17	+ 4	▲ 6			
学校名	平成28年度の状況 学科及び募集学級数				H28 欠員	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32～35年度までの見通し		摘要
	普通	職業	計								
根 室	3	商 2	5	22	普▲3 商▲2				○4年間で2～3学級相当の調整が必要 ○欠員の状況やこれまでの調整を考慮した定員調整の検討が必要 ○欠員が40人以上生じている学校について、学科の見直しや定員調整などについて検討が必要 ○小規模校について、中卒者数やこれまでの進学状況、学校・学科の配置状況などを考慮し、学級減や再編整備を含め、その在り方の検討が必要 ○地理的状況から再編が困難であり、かつ地元からの進学率が高い小規模校については、地域キャンパス校化の検討が必要		
根 室 西	2		2	39	普▲2						
新設校					普+4、商+2 普通及び商業に 単位制導入					根室校舎を使用	
別 海	2	農 1	3	32	普+1 (計画変更)						
中 標 津	4	商 2	6	53							
標 津	2		2	13							
*中標津農業		農 2	2	66							
中高 羅 臼	2→1		1	6	普+1 (計画変更)					H28二次募集後学級減	
7校	15 →14	7	21	231	普▲5、商▲2 普+6、商+2						

### 《全学区共通事項》

平成29年度以降の各通学区域における生徒の進路動向を見極めて、毎年度再検討するとともに、新たに計画に反映させるものとする。